

 **八千代工業株式会社(7298)**
YACHIYO INDUSTRY CO.,LTD.



平成16年12月 6日

ホームページ : <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>

問い合わせ先: 事業管理室 栗原 義弘

e-mail : yoshihiro_kurihara@yachiyo-ind.co.jp

TEL (04)2954-7331

-  会社名 八千代工業 株式会社
(Yachiyo Industry Co.,Ltd..)
-  設立 1953年8月 (昭和28年)
-  本社 埼玉県狭山市柏原393
-  資本金 36.8億円
-  事業内容
自動車組立事業
自動車部品の開発・製造
自動車補修部品の製造
-  国内拠点 11拠点
-  海外拠点 生産拠点 : 10拠点 技術援助 : 4社 (計14社)
-  従業員数 5,409名 (連結ベース : 平成16年9月末現在)

昭和28年 東京都板橋区富士見町に八千代塗装株式会社を設立

35年 三重県鈴鹿市に鈴鹿工場設立

43年 八千代工業株式会社に商号を変更

47年 軽四輪乗用車「ステップバン」の受託生産を開始

51年 海外向け「バギー車」受託生産を開始

52年 自動車部品「燃料タンク」の生産を開始

58年 三重県四日市市に四日市製作所設立

60年 四日市製作所にて軽四輪トラック「アクティ」の受託生産を開始

平成元年 カナダにヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチャリング インコーポレーテッドを設立

3年 軽四輪乗用車「ビート」の受託生産を開始

6年 当社株式を店頭登録銘柄として日本証券業協会に登録

11年 アメリカ に樹脂製燃料タンク製造拠点ユー エス ヤチヨ インコーポレッドを設立

14年 中国、広東省中山に八千代工業（中山）有限公司を設立

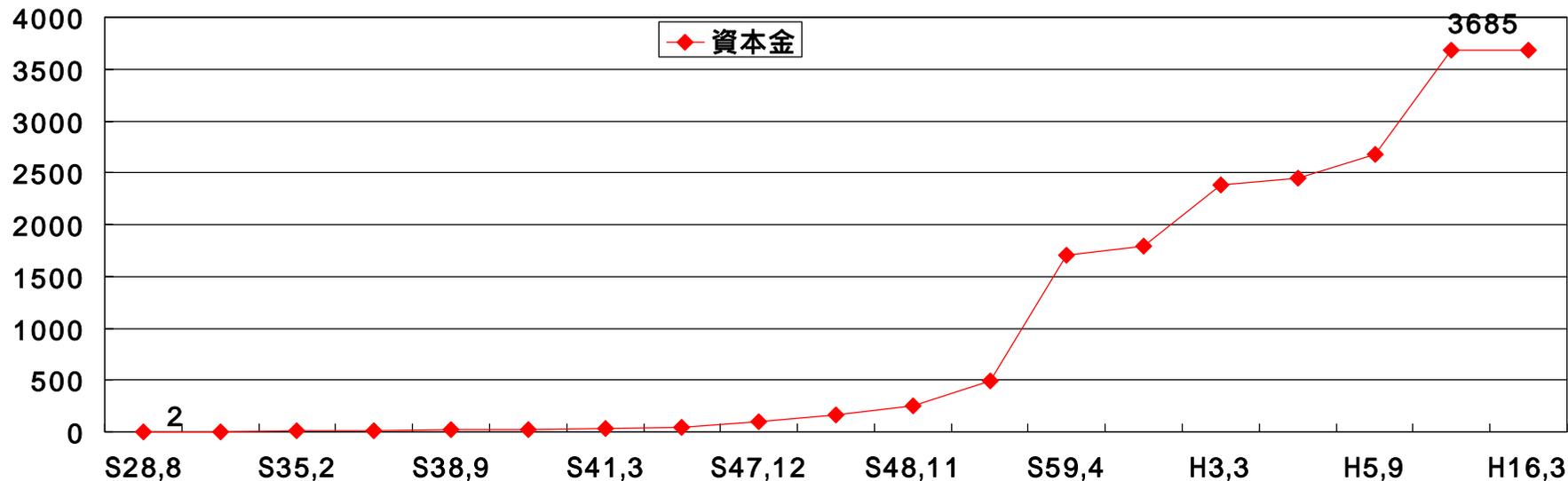
合志技研工業株式会社の子会社化で二輪事業に本格参入



ステップバン

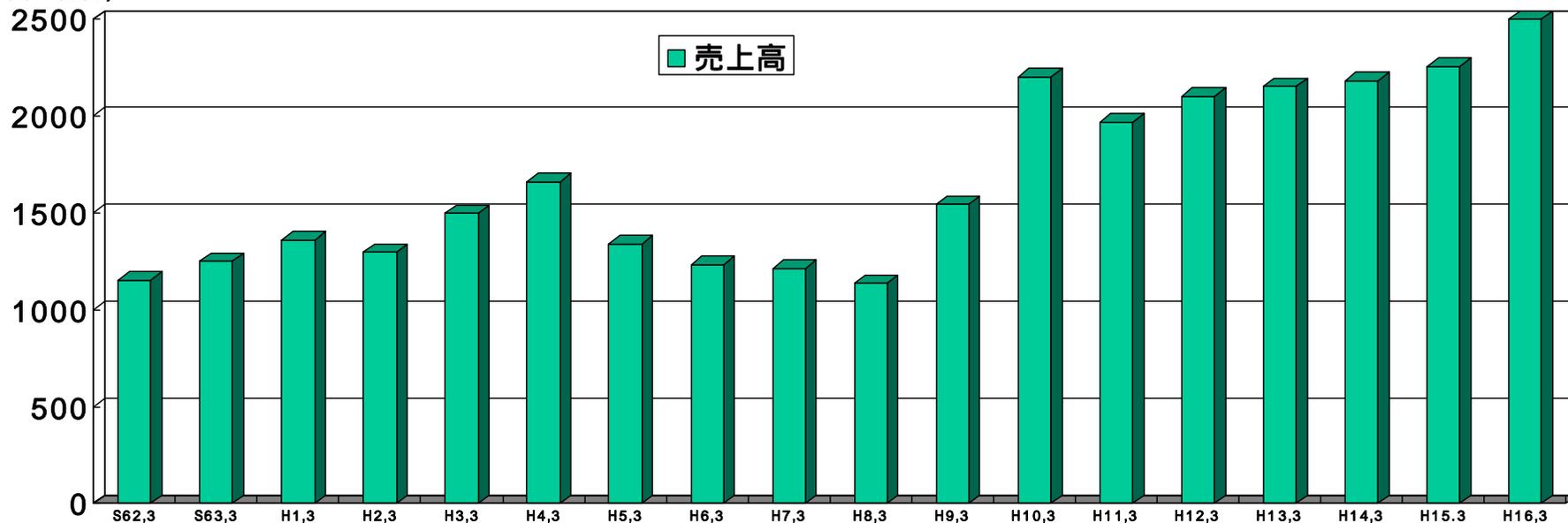
資本金、売上高推移

(単位:百万円)

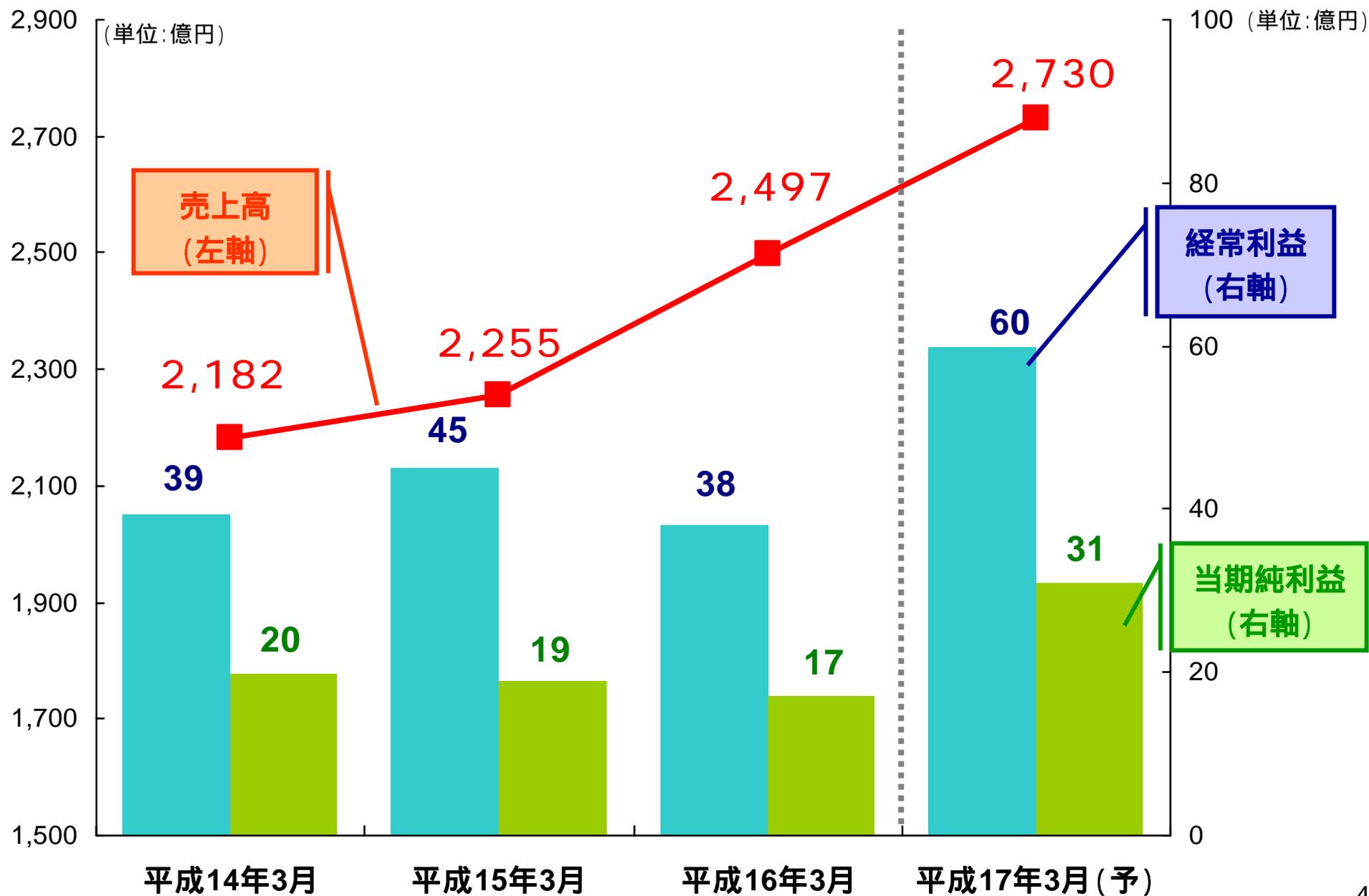


売上高(昭和62年3月期~)

(単位:億円)



直近3年間の業績(連結)



連結売上高 2,497億円
(平成16年3月 決算)

部品事業
50.1%
(1,251億円)

完成車事業
49.9%
(1,246億円)

機能部品、樹脂部品
板金部品(ボディ骨格部品)、
補修部品 の生産

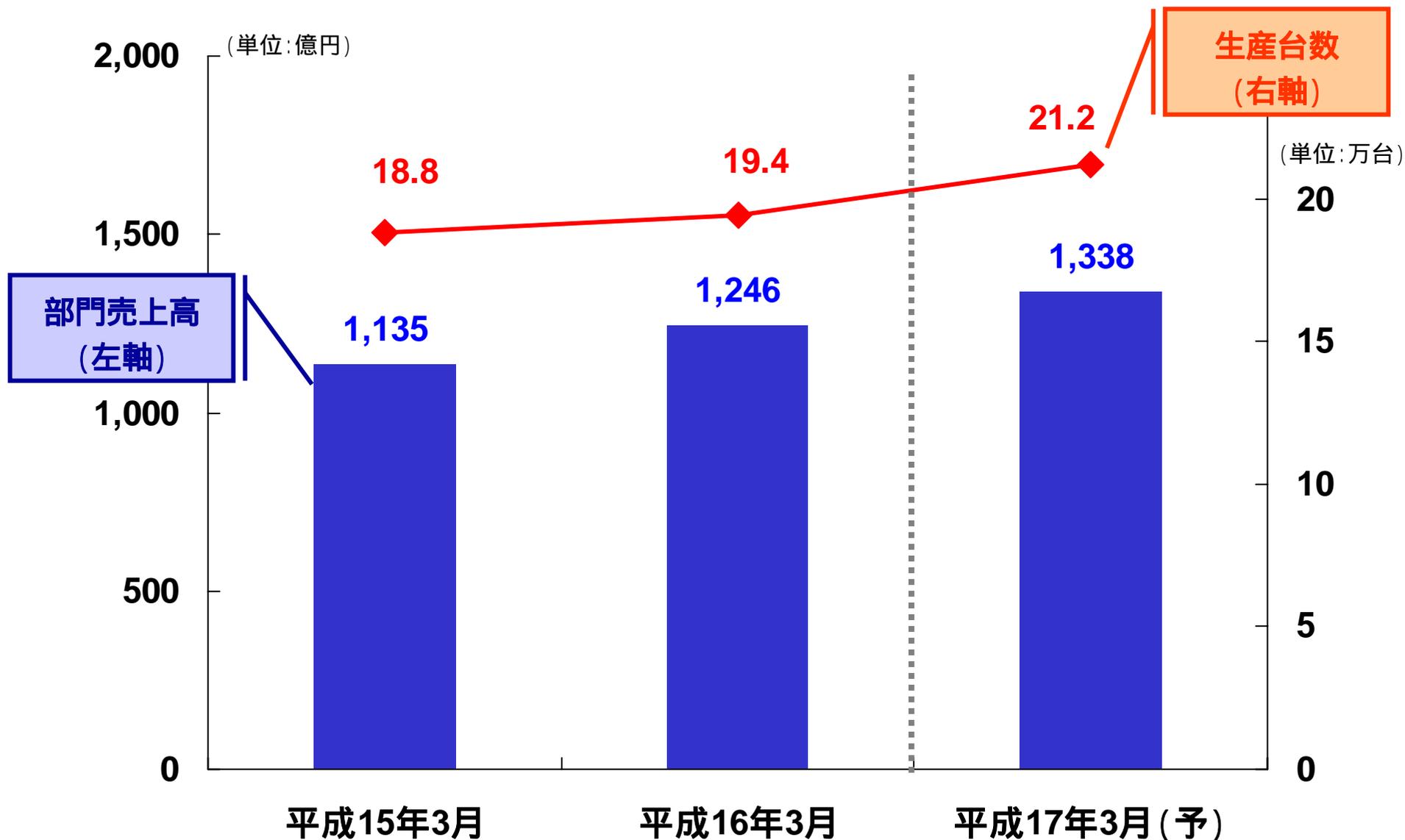
ホンダ技研工業(株)向け
軽自動車生産

ホンダの軽自動車生産に関しては、
国内唯一の受託メーカー



完成車事業

部門売上高と軽自動車生産台数推移



生産車種ラインナップ



ACTY TRUCK



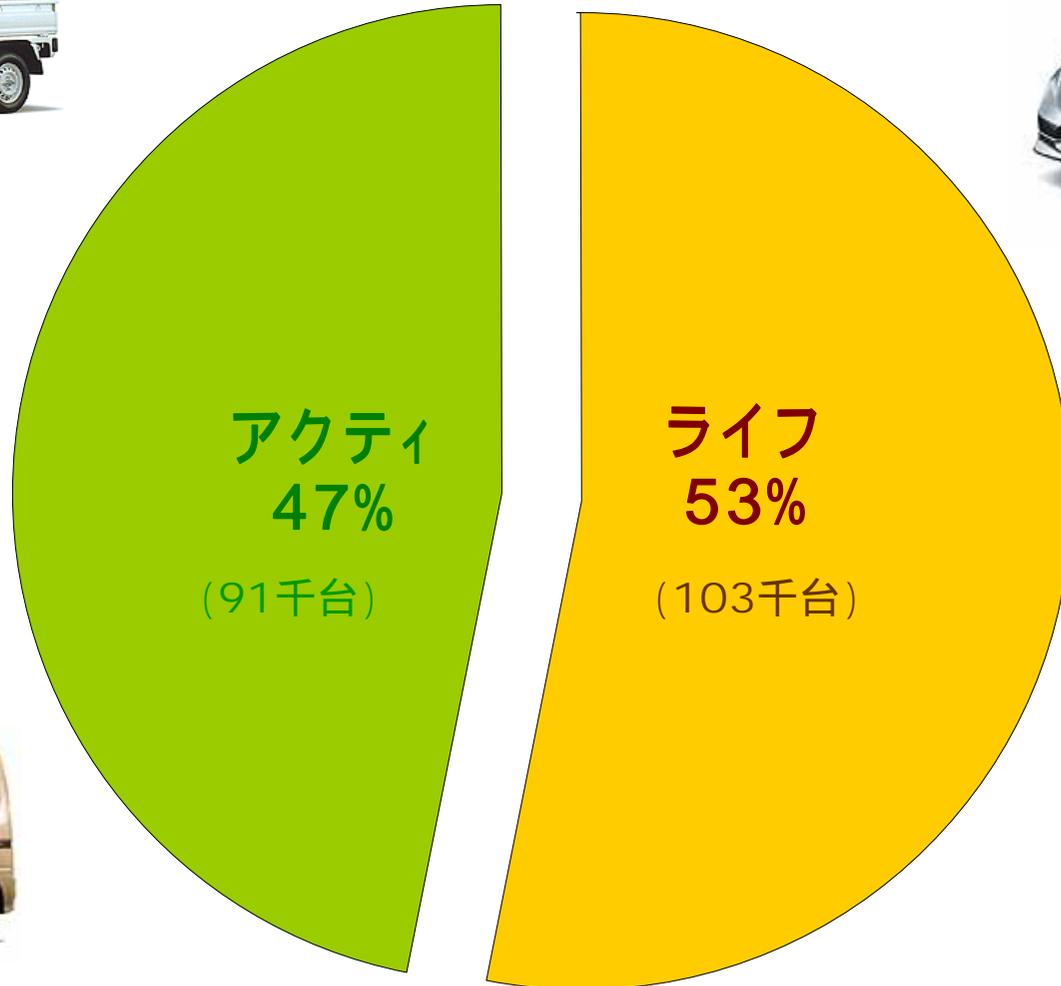
ACTY VAN



VAMOS



LIFE



TOTAL 194千台

(平成16年3月期実績)

特装車のラインナップ

ダンプ大型鳥居



2輪搬送車



LIFE アルマス



ダンプ浅底



リフター

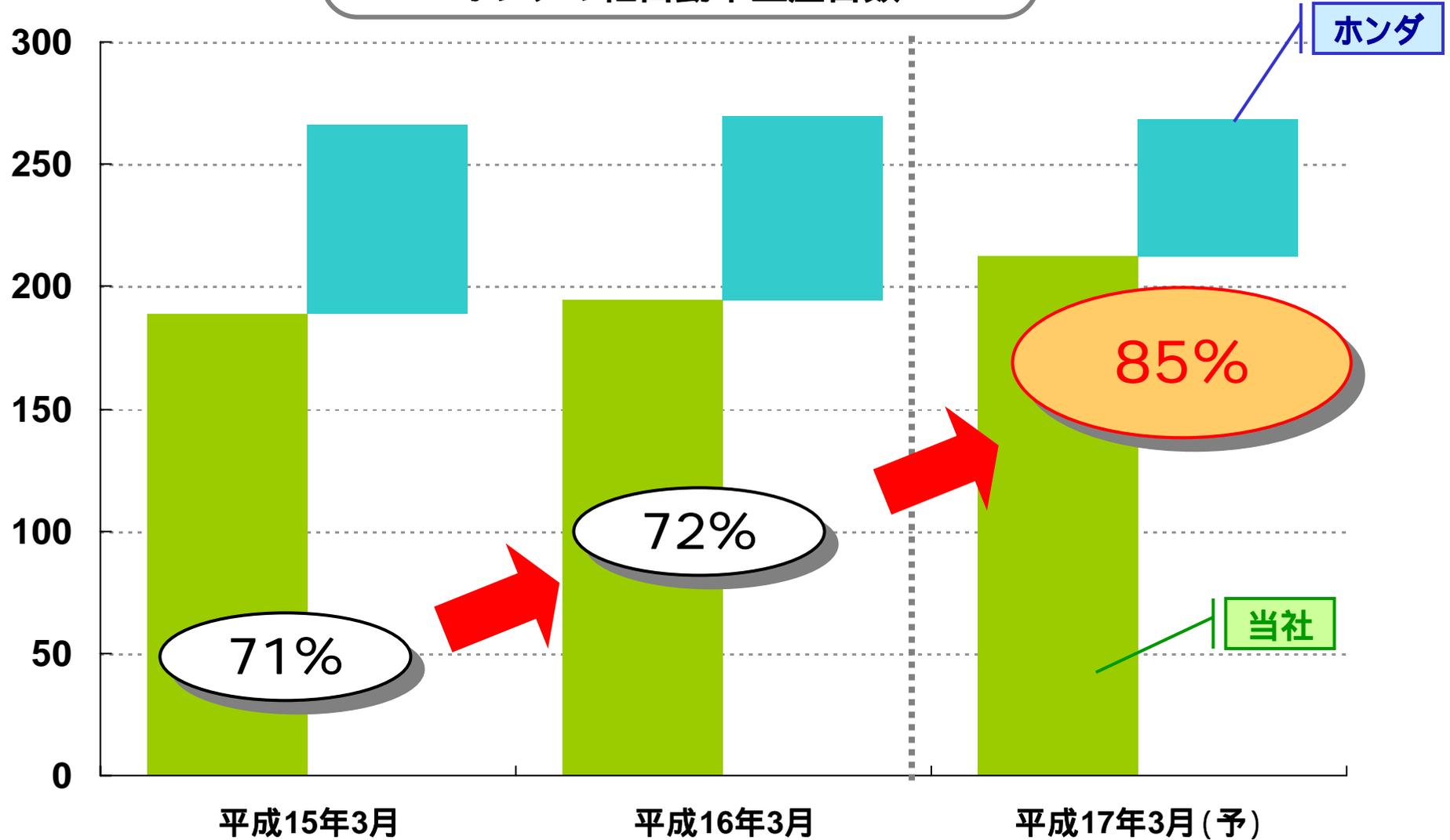


ロ-リ-



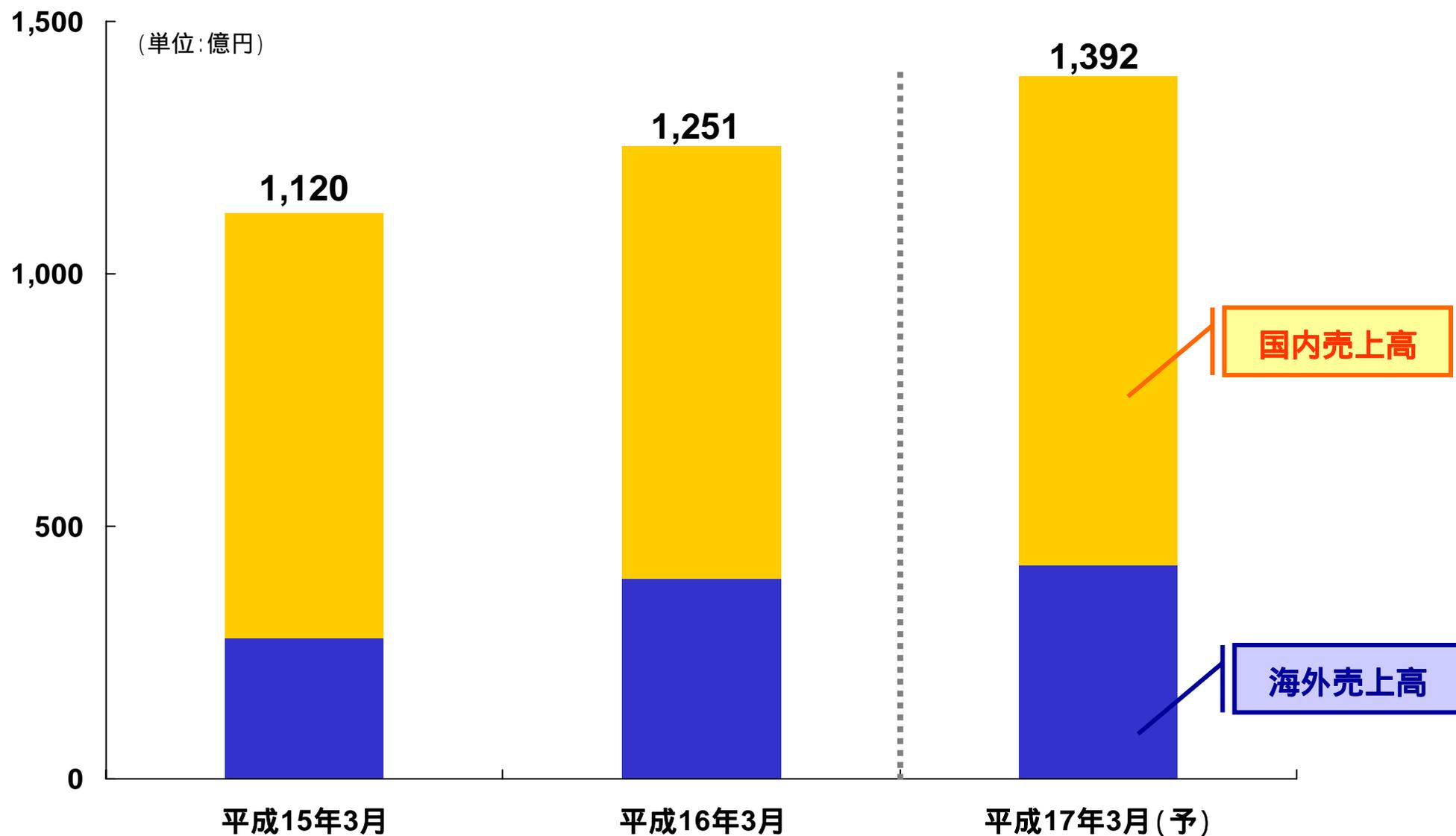
(単位:千台)

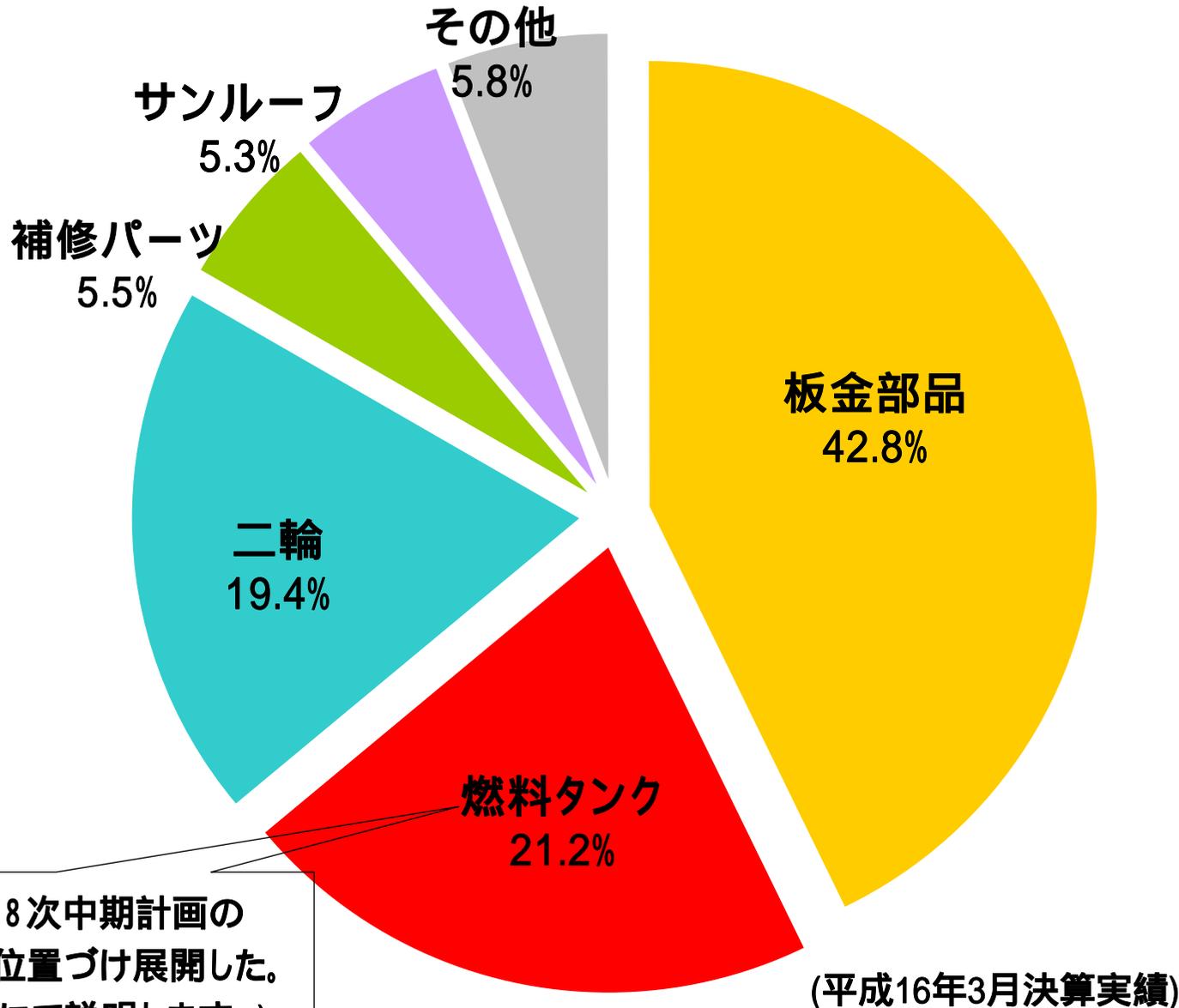
ホンダの軽自動車生産台数



部品事業

部品事業の売上構成





燃料タンクは第8次中期計画の
戦略的製品として位置づけ展開した。
(第8次中期計画にて説明します。)

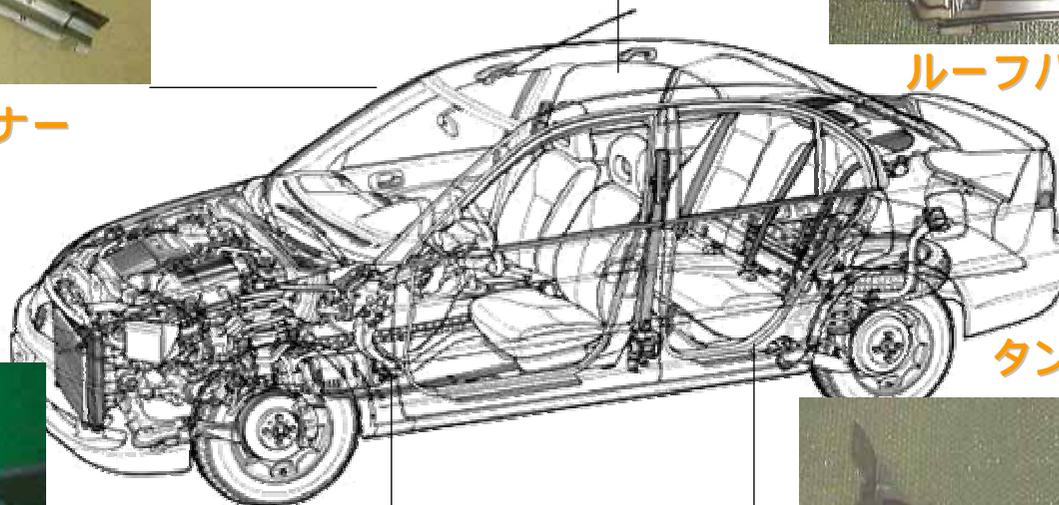
部品紹介（板金部品）



フロントピラースティフナー



ルーフパネルスティフナー



PCUケース



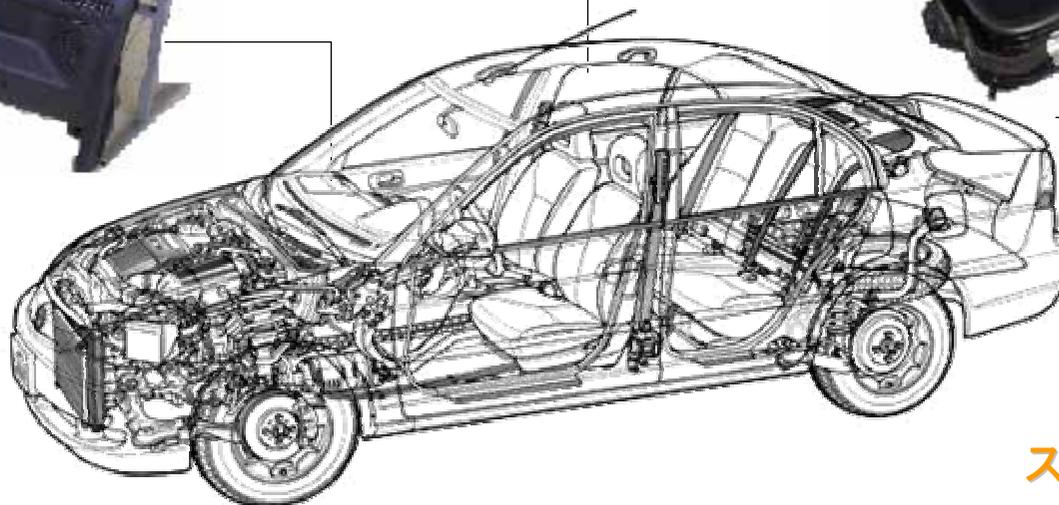
タンクプロテクター



サンルーフ



インストルメントパネル



スポイラー



バンパー



タンク



ハンドル



マフラー



フレーム

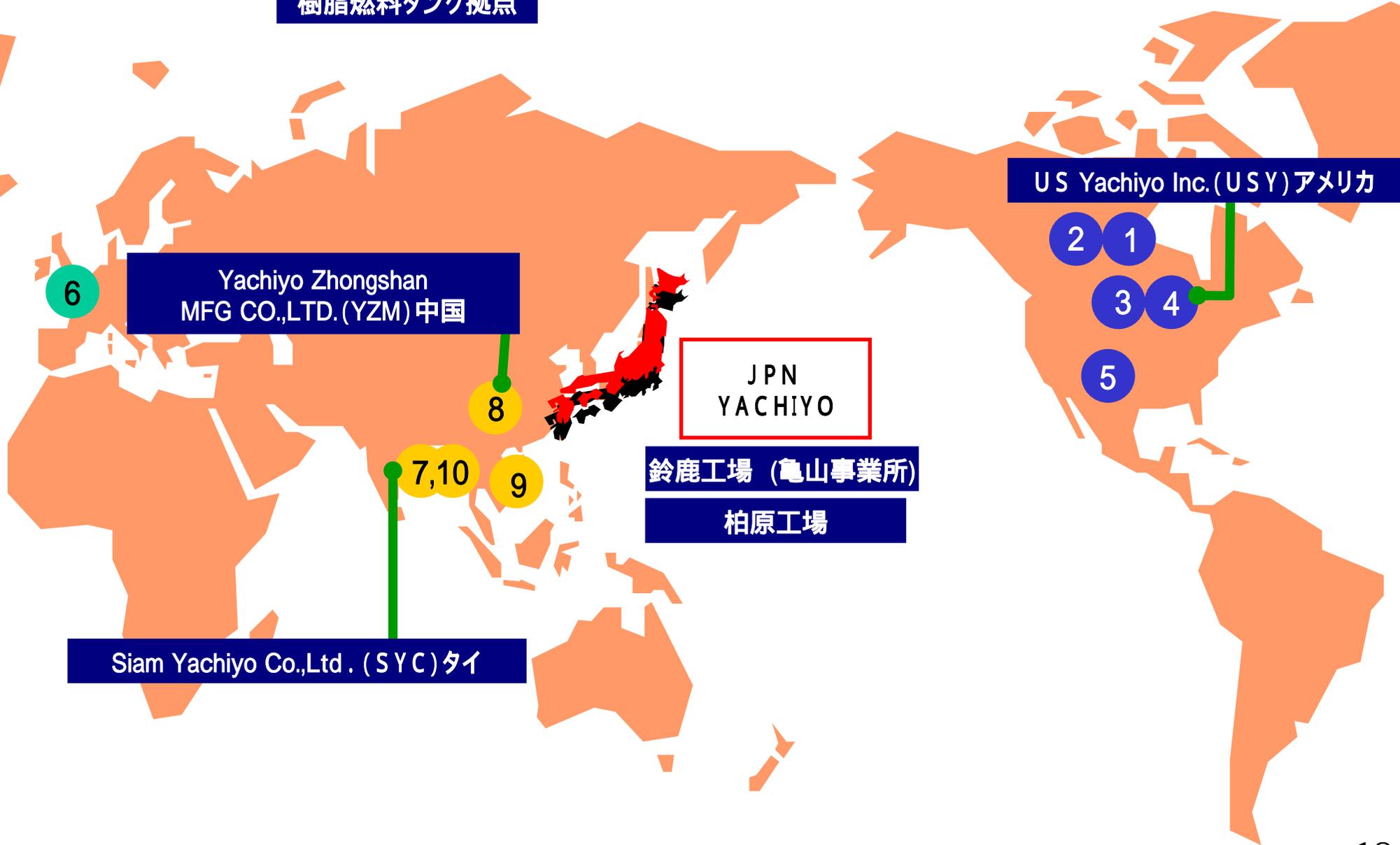


フェンダー



グローバルな生産拠点

樹脂燃料タンク拠点



グローバルな生産拠点

	生産拠点名称	国名	生産品目
	YOM (ヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチャリング Inc.)	カナダ	・ボディパーツ ・燃料タンク ・サンルーフ部品
	YMT (ワイ イム テクノジ - Inc.)	カナダ	・金型及び治工具
	AYM (イー ワイ マニュファクチュアリング Ltd.)	米国	・サンルーフ
	USY (ユー イス ヤチヨ Inc.)	米国	・樹脂製燃料タンク
	YMA (ヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ LLC.)	米国	・ボディパーツ
	UYT (ユー ワイ ティー Ltd.)	イギリス	・ボディパーツ ・サンルーフ
	SYC (サイアム ヤチヨ カンパニー Ltd.)	タイ	・アルミ及び樹脂部品塗装
	YZM (八千代工業(中山)有限公司)	中国	・樹脂製燃料タンク
	GTA (ゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー Ltd.)	ベトナム	・二輪車部品のプレス、溶接、塗装
	SGM (サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー Ltd.)	タイ	・二輪車部品のプレス、溶接、塗装

当中間期の連結業績について

	平成15年9月	平成16年9月	対前年同期比 伸び率	コメント
売上高	1,163億円	1,328億円	+14.2%	-
完成車事業	546億円	646億円	+18.4%	生産台数 1.8万台増
部品事業	617億円	682億円	+10.5%	国内生産 増 54.6億円 北米生産 減 6.8億円 アジア生産 増 16.7億円
営業利益 (対売上高比率)	20.5億円 (1.8%)	29.4億円 (2.2%)	43.6%	・国内及びアジア地域における売上高の増加に伴う利益の増 +13.0億円 ・北米地域における売上減少に伴う利益の減 4.1億円
経常利益 (対売上高比率)	20.2億円 (1.7%)	30.7億円 (2.3%)	51.9%	為替差損の減 関連会社持分利益の減
当期純利益 (対売上高比率)	9.8億円 (0.8%)	15.7億円 (1.2%)	60.2%	-

平成17年3月期 連結業績 (予想)

	平成16年3月期 実績	平成17年3月期 予想	対前年比 伸び率	平成17年3月期 期初対発(5/7)
売上高	2,497億円	2,730億円	+9.3%	2,630億円
営業利益 (対売上高比率)	39.1億円 (1.6%)	59.0億円 (2.2%)	+51.0%	46.0億円 (1.7%)
経常利益 (対売上高比率)	38.1億円 (1.5%)	60.0億円 (2.2%)	+57.6%	45.0億円 (1.7%)
当期純利益 (対売上高比率)	17.5億円 (0.7%)	31.0億円 (1.1%)	+77.5%	23.0億円 (0.9%)

第8次中期経営計画

(平成14, 4, 1 ~ 平成17, 3, 31)

第8次中期計画のビジョン

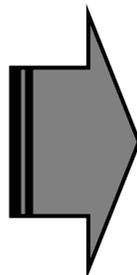
生産活動を通じ
企業価値の継続的拡大を図り、
世の中に存在を期待される
企業となる。

完成車事業

軽で圧倒的な競争力ある生産
体質を構築する。

部品事業

部品事業の生産体質を強化し、
グローバル競争の中で生き残れる
体質を作る。



長期ビジョン

お客様の満足のために
卓越した技術と
特長ある製品を供給する
提案型サプライヤー

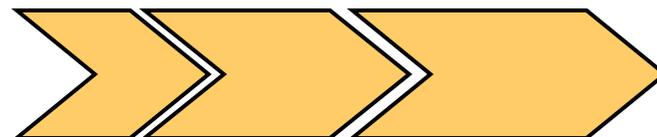
完成車事業

車体骨格部品の設計から生産
まで提案できる製造メーカーへの
展開

部品事業

フューエルシステム・コンポーネントメーカーへ
サドルフの世界トップ3メーカーへ

第8次中期計画
平成15年3月期～平成17年3月期



完成車事業

- ◆生産能力アップ
- ◆コスト削減

フレキシブルラインの導入
塗装工程の効率化（直行率アップ）
組立工数の低減（サブラインの設置）

部品事業

- ◆収益性向上
- ◆事業規模の拡大

基幹部品事業の拡大

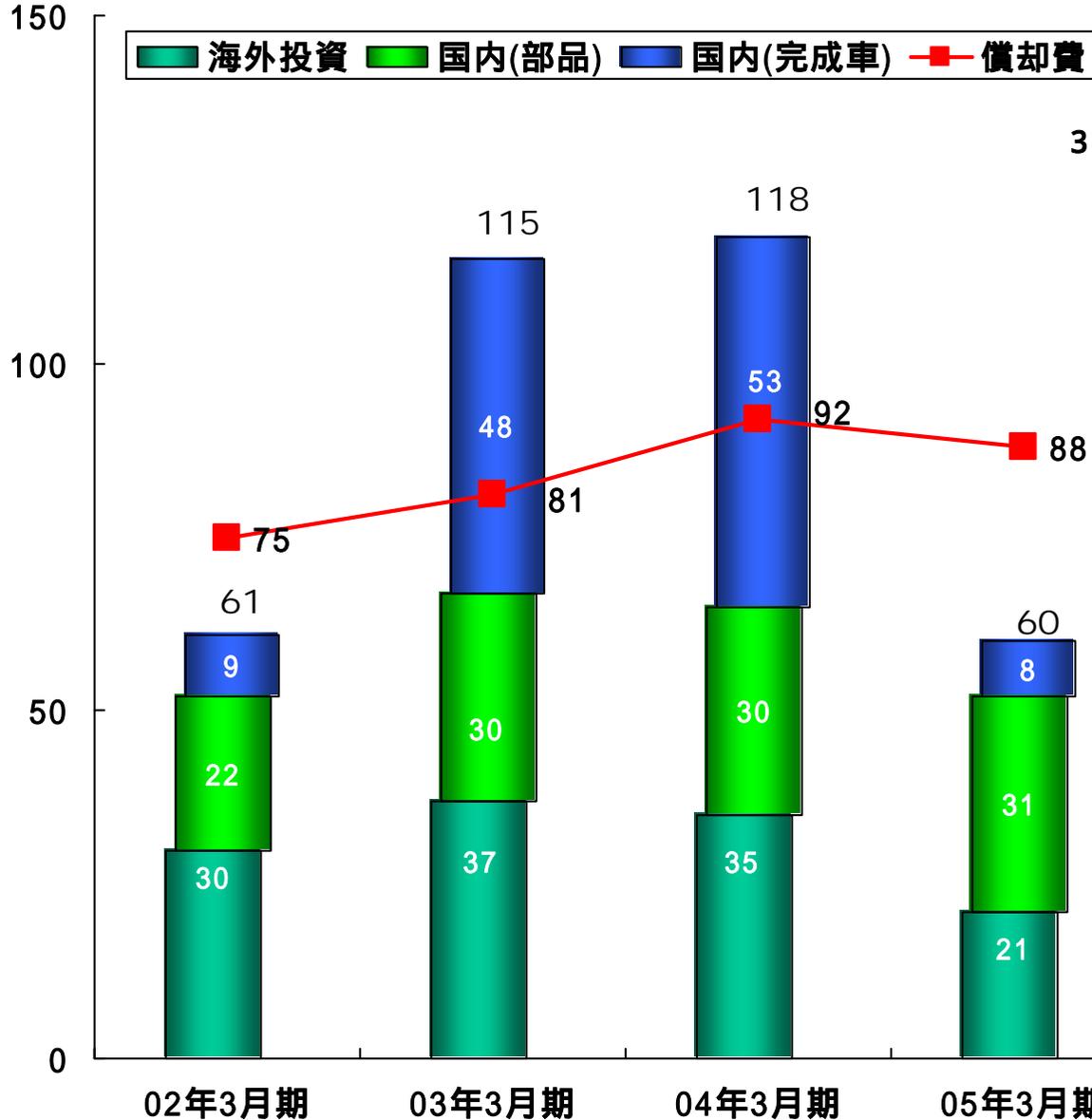
燃料タンク：樹脂タンクの量的拡大とエバポ規制強化への対応技術開発
サンルーフ：ラインナップの充実とコスト削減
補修パーツ：事業規模の拡大

海外拠点の拡充
販路の拡大

第8次中期実績見通レビュー 設備投資状況

(単位:億円)

生産基盤づくり(能力/規模拡大)は実施できた



3カ年累計投資 293億円

完成車事業 109億円・生産能力拡大/効率向上 83

- ・合理化 7
- ・新機種 7
- ・更新 12

部品事業 184億円・事業規模拡大 59

- | | | |
|----------|---------|----|
| 国内 91 | ~PFT | 36 |
| 海外 93 | ~プレス | 8 |
| | ~アパマ | 9 |
| | ~合志(2R) | 6 |
| ・合理化 | | 15 |
| ~塗装体改 | | 13 |
| ~その他 | | 2 |
| ・新機種(金型) | | 90 |
| ・更新 | | 20 |

完成車事業

大幅な「生産能力の拡大」と「生産効率の向上」
を実現

...乗用系車種の実産体制改革の完了

生産能力拡大	840台/日産	1,000台/日産
	(20.5万台/年間)	24万台/年間)

フレキシブル化拡大	5機種	8機種
-----------	-----	-----

新機種導入時投資 (除く、金型投資)	1 / 3化
-----------------------	--------

完成車事業

大幅な「生産能力の拡大」と「生産効率の向上」
を実現

部品事業

「収益性の向上」と「事業規模の拡大」を推進し
グローバルでの競争力ある生産体質の構築
ができた

	< 7中末 >	< 8中末予定 >
利益率向上	1.8%	2.2%
新拠点	アラバマ(米国)、YZM(中国)立上げ	
	< 計画 >	< 実績見込 >
コストダウン(8中累計)	18億円	26億円

第8次中期計画は、ほぼ計画通り達成を見込む。

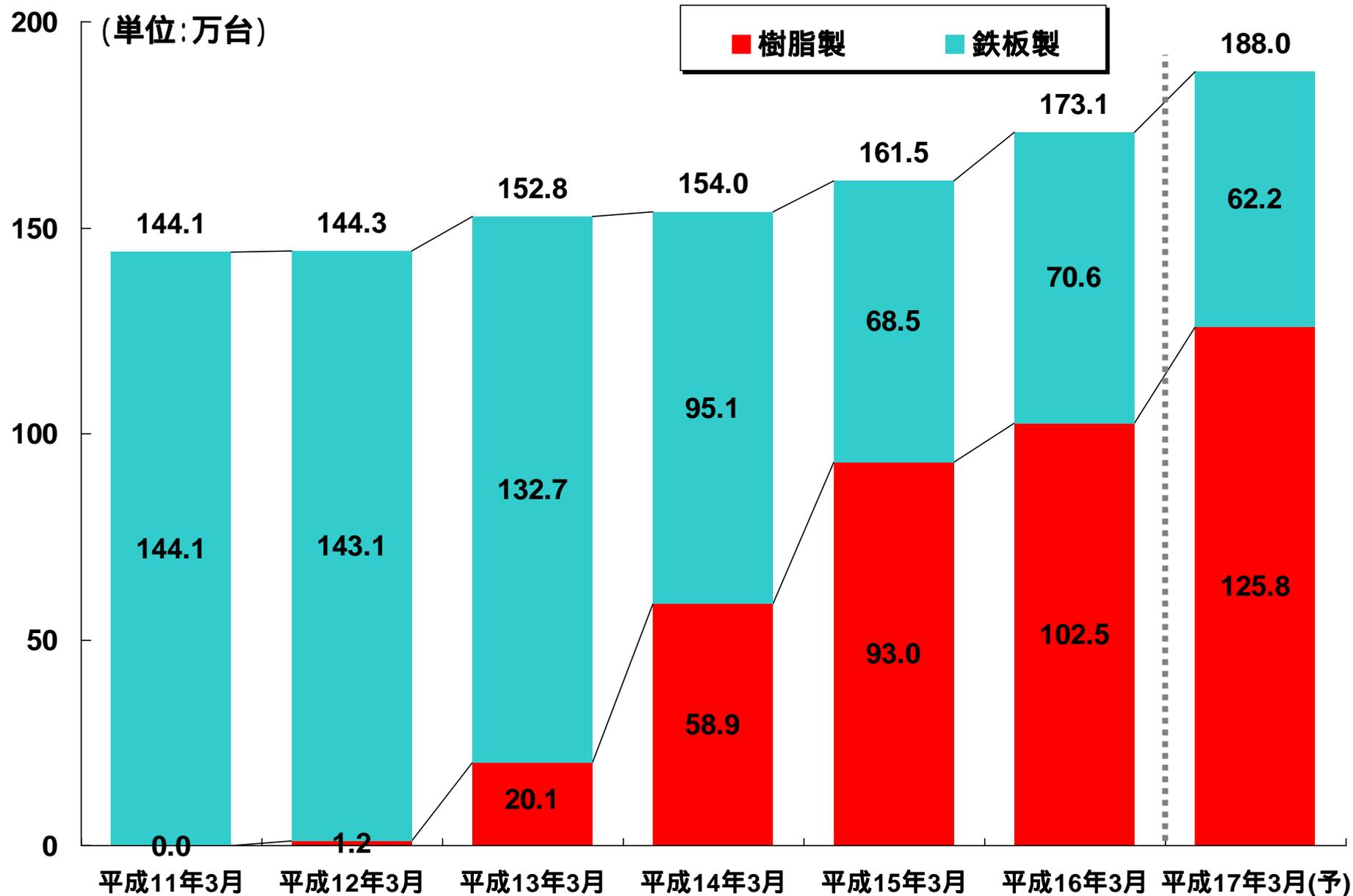
樹脂製タンクと鉄製タンクの特徴比較

:優れている :良い :良くない ×:悪い

	鉄板製燃料タンク	樹脂製燃料タンク	樹脂燃料タンクに関する備考
経済性			1工程で容器が完成
重量			鉄板製に比べて10~25%の軽量化が可能
形状自由度			より複雑な形状に成形できる
耐食性			耐食性に優れ、高価な表面処理が不要
燃料透過			バリア材EVOH で解決可能
リサイクル			リサイクル可能。鉄板製は特殊な表面処理が施しておりリサイクルのネックとなっている。

EVOHとは燃料透過防止剤エチレンビニルアルコールの略。

燃料タンクの生産台数推移



どうして樹脂製燃料タンクか？

完成車メーカーニーズ

規制対応

環境基準の強化(北米地区)

永年耐久性能の保証

安全性等の向上(北米地区)

デザイン自由度

軽量化

投資額削減

コストの低減

技術動向

材料

法規制をクリアする材質(EVOH材)
の出現

設備

EVOH材の加工が可能な機械
の出現

樹脂製燃料タンクの商品化

YACHIYOの取り組み

長年の鉄板製燃料タンクでの開発・製造ノウハウと樹脂製部品で培った加工技術の融合により実現

樹脂製タンク



鉄板製タンク



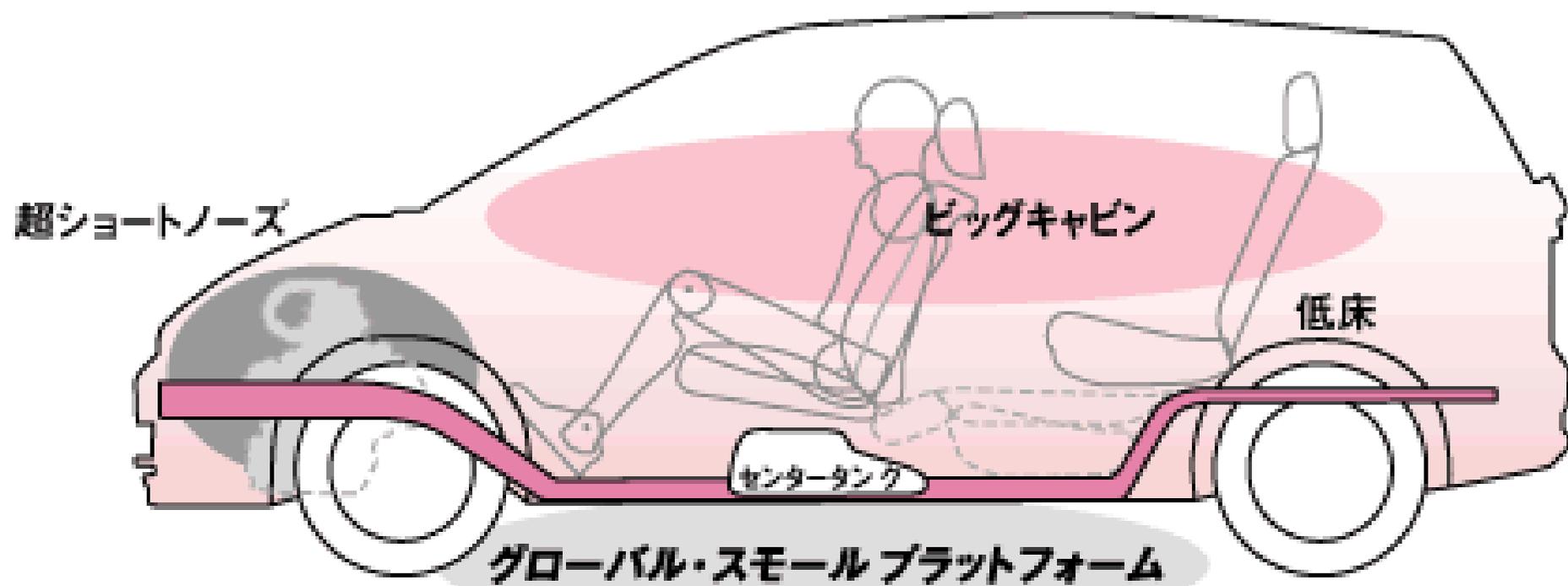
4輪駆動車搭載樹脂製燃料タンク例

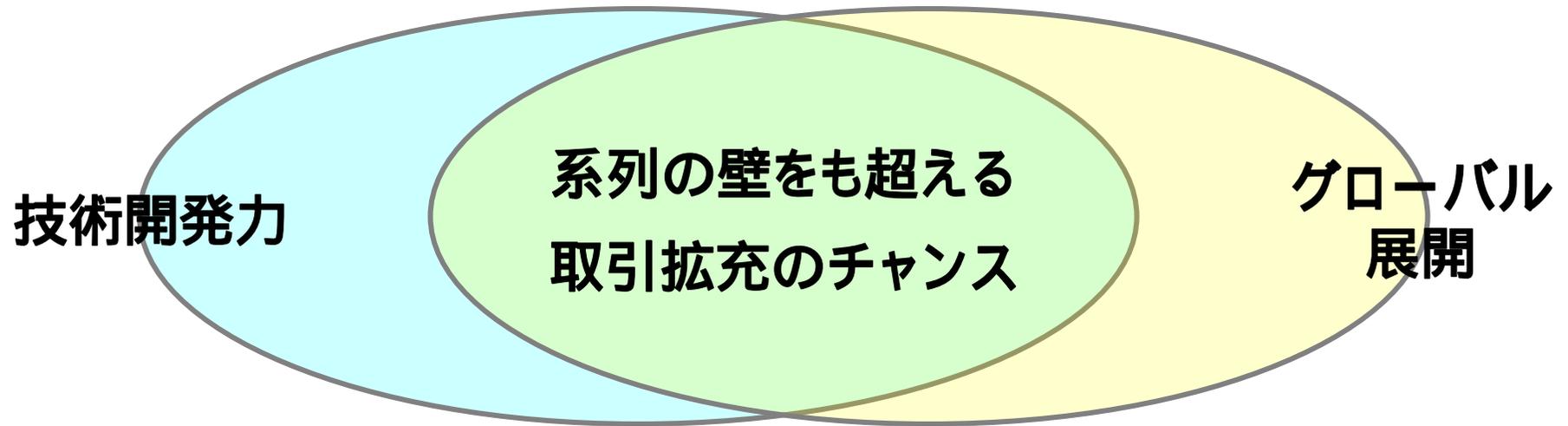
燃料取入れ口形状に大きな優位点
鉄板製では貼り合わせ構造のため制限が
あったが、樹脂製においては形状自由。

また、4輪駆動車等のシャフト形状にも対応。

設計の自由度が高く、軽量コンパクト

フィット、モビリオに搭載





当社にて、この展開を狙うにあたり、一番キーになる事業は

樹脂製燃料タンク事業

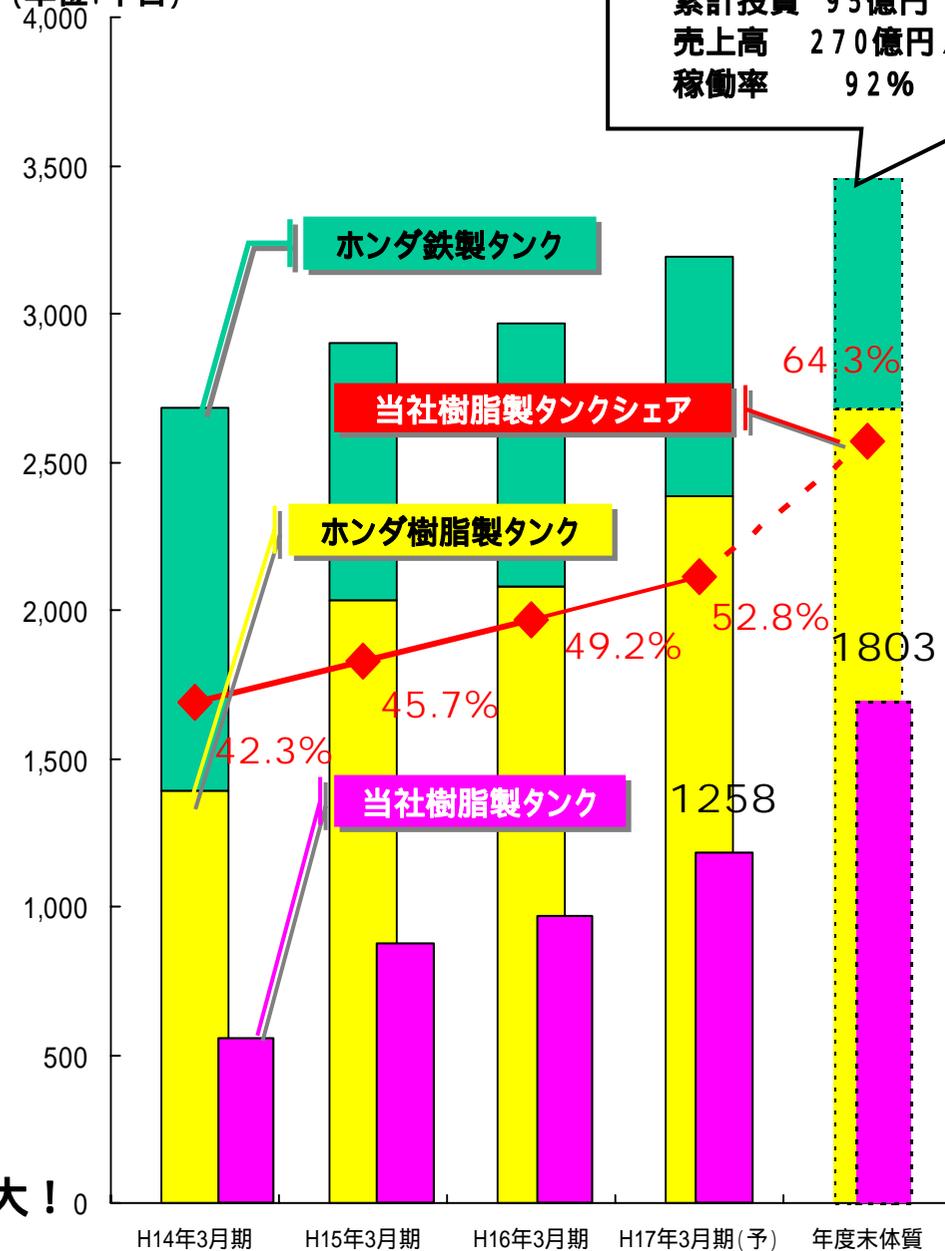
グローバル拠点拡大にて成長市場の足場づくり

エリア別の樹脂タンク生産能力拡大計画

	拠点	第8次中期計画			第8次 中期計画末 生産能力 (年間)
		H15年 3月期	H16年 3月期	H17年 3月期	
日本	柏原	15万台	→	→	35万台
	亀山	→	→	→	40万台
北米	USY	→	→	→	80万台
中国	YZM	→	→	→	20万台
アジア	タイ	→	→	→	20万台

年間生産能力 **195万台** に拡大!

(単位:千台)

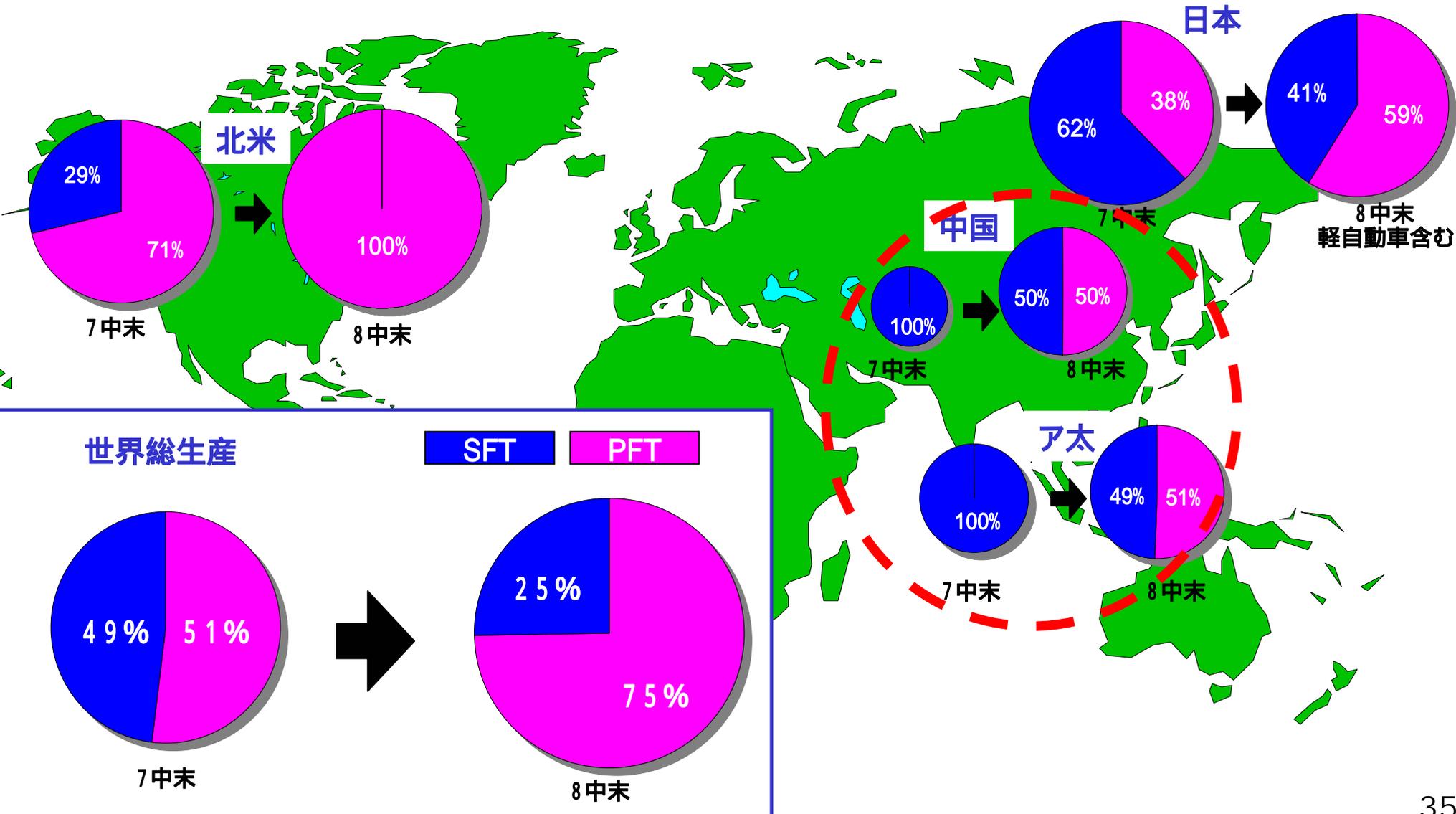


累計投資 95億円
売上高 270億円/年
稼働率 92%

ホンダ燃料タンク生産の動向

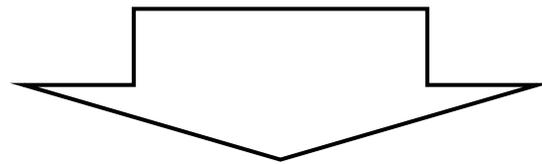
生産規模拡大し樹脂タンク比率も拡大

ホンダ 世界 燃料タンク生産比率
(単位：%)



いち早く「競争力ある生産体制の構築」が出来たことにより

- ・中国に於いては初となる4種6層の大量生産体制の確立が図れた。
- ・アジア(タイ)に於いては初めてで唯一の4種6層メーカーとしてスタートがきれた。
- ・環境規制(LEV)をクリア出来る技術力と高品質な商品力で安定的な供給体制の実現が図れた。



販路拡大のチャンス増大

ホンダ向け軽自動車組立の完成車事業と、部品事業(機能部品の開発・製造)が事業の二本柱。

① ホンダの軽自動車生産(組立)では国内唯一の受託メーカー。

プレス加工から塗装までの一貫した製造工程における生産性向上への取組みが評価され、組立事業は安定収益源に。

② 部品事業では燃料タンクに強み。特に、経済性(製造面及び燃費ともに)・加工形状自由度などに優れる“樹脂製燃料タンク”の開発・生産においては先端技術を確保。

③ サンプルフは軽量・薄型で作動音も小さいという性能の良さに特徴。海外拠点を活用したグローバル展開も視野に。

④ 補修パーツ事業は、国内では唯一プレスから梱包まで一貫受注できる専門工場を有し、コスト・品質ともに格段の競争力をもって事業拡大中。

当社は、上述の戦略・取組みを確実に進めて、業績の向上を図ってまいります。
そして、今後も「2つの柱」を更に発展させ、世界に通用する企業へと成長してまいります。

また、皆様に信頼いただける経営を実現していくためにも、株主様をはじめ、顧客、投資家、そして従業員等、八千代工業の「ステークホルダー」の皆様により深く理解いただけるように、積極的にIR活動を行ってまいります。

こうした成長戦略の実行・IR活動の促進を通じて、株主様の利益の向上につなげたいと考えております。

今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。尚、上記の不確定性及び変動可能性を有する要素としては、主に以下のようになります。

- ・主要市場における経済情勢及び需要の変動
- ・為替相場の変動
- ・主要市場における貿易規制等の各種規制
- ・主要市場における政治情勢
- ・当社が事業活動を行う上生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害